

## 【主な著作】

- 天気予報入門：2021、大木勇人と共著、講談社ブルーバックス
- 天気予報はどのようにつくられるのか：2019、ベレ出版
- 気象庁物語：2015、中公新書
- 避難の科学：2015、東京堂出版
- 現代天気予報学：2012、室井ちあし と共著、朝倉書店
- 人と技術で語る天気予報史：2012、東京大学出版会
- 気象学入門：2011、大木勇人と共著、講談社ブルーバックス、
- 最新気象百科：2008、古川武彦（監訳）、椎野純一・伊藤朋之（訳）、丸善出版
  
- アンサンブル予報—新しい中・長期予報と利用法、2004、酒井重則と共著、東京堂出版
  
- わかりやすい天気予報の知識と技術： 1998年、オーム社
- 気象科学辞典：1998年、東京書籍、分担執筆
- 気象予報士試験（学科演習）：2002年、東京堂出版、分担執筆
- 山越気流について： 1981年、「測候時報」、気象庁
- 山越え気流の数値実験（1）（英文）： 1978年、「気象集誌」、日本気象学会
- 山越え気流の数値実験（2）（英文）： 1978年、「気象集誌」、日本気象学会

- 米国における気象サービス：1997年、「天気」、日本気象学会
  
- 米国気象事情：2000年、「気象」、日本気象協会
  
- 日本の気象サービスの動向について：2002年、「風工学」、風工学学会
  
- 気象予報と信頼性の評価：2004年、日本信頼性学会
  
- 気象災害に備える：2004年、「自主防災」、(財)東京都防災指導協会
  
- ウェザーデリバティブと気象データ：2004年、「ナットソース ジャパン」に2002年に寄稿したものを改稿
  
- 天気図について— 実際に描いてみよう—：2004年9月

他、主に気象に関連する講演、寄稿多数

[ホームへ戻る](#)